

授業科目(ナンバリング)	スポーツ社会学(CC105)			担当教員	末永 貴久		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
スポーツツーリズムコースの専門科目として、スポーツを広い視野でみることができる。国内外におけるスポーツの歴史や現状を踏まえ、将来、国際社会や地域社会において、スポーツに関わり、スポーツを通して国際交流や地域の活性化に貢献できる人材となるための専門的な知識を、ディスカッションやグループワークを通じて身につけることができる。							②③④⑤⑥⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
専門力	社会におけるスポーツの背景について説明することができる。また、スポーツに取り組む各々の環境による社会への関与の違いを理解し、説明することができる。			・試験レポート		20%	
情報収集、分析力	スポーツに関連する社会的課題を収集し、分析することができ、情報を読み解くことができる。			・定期レポート		20%	
コミュニケーション力	小グループにて、スポーツに関わる課題をディスカッションし、その解決方法など自分のアイデアを発表し、表現することができる。			・授業態度・授業への参加度(プレゼンテーション)		15%	
協働・課題解決力	小グループにて、スポーツに関わる課題に関して、自分の考えを持ちつつ、他人の意見も尊重しながら理解、協調することができる。また、解決方法などをディスカッションすることができる。			・授業態度・授業への参加度(グループディスカッション)		15%	
多様性理解力	スポーツに対する様々な見方、考え方を理解し表現することができる。			・課題レポート(2回)		30%	
出 席				受験要件			
合 計				100%			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
受講態度・授業への参加度は、各授業における受講態度および授業内で行う小グループ毎のプレゼンテーションおよびディスカッションにて評価する(評価比率 30%)。課題レポートは2回実施し、その提出状況、レポート内容で評価する(評価比率 30%)。また、定期試験として試験レポート作成を課す(評価基準 40%)。なお、課題レポートに関しては、ポートフォリオで、課題などのフィードバックを実施し確認する。							
授業の概要							
本授業は、スポーツに関する幅広い知識を持てるよう、スポーツが国家や地域などの中でいかにして作られ、発展してきたのかという歴史のプロセスと、現代の人々が社会においてスポーツをどのように捉えているのかを学ぶ。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：特になし。講義内において適宜プリントを配布する。参考書：特になし。 指定図書：「スポーツの歴史と文化」2019 新井博 株式会社道と書院							
授業外における学修及び学生に期待すること							
公認スポーツ指導者「スポーツリーダー」や、「健康運動実践指導者」などの資格取得を目指す者と同等の積極性を持つ学生に受講してもらい、社会の中でのスポーツが取り巻く環境を考え、発言できるようになって欲しい。また、2年次は「地域スポーツ」、3年次は「スポーツマネジメント」を履修し体系的に学ぶことを希望する。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	学校体育の意義	スポーツ社会学の第一歩として、学校体育の歴史的背景、仕組み、基本原理、役割、課題、社会への意義について考える。	予習: 学校体育・スポーツに関する資料を集める。 復習: 学校体育の意義について確認する。
2	学校における部活動	学校における教育システムとしての部活動の運営体制や資源について、また学校体育団体について考える。	予習: 部活動の現状について調べる。 復習: 部活動の果たす役割について確認する。
3	大学スポーツ	日本の大学スポーツの現状、諸外国の状況、課題などについて考える。	予習: 日本の大学スポーツと外国との比較について自分なりの考えをもってくる。 復習: 大学スポーツの意義について確認。
4	公共スポーツ施設	公共スポーツ施設を社会との関わりの観点から考える。施設設置の現状や、施設の位置づけと意義および諸問題、運営形態などについて考える。学校体育施設の利用についても考える。	予習: 公共スポーツ施設について調べ、現状について自分なりの考えをもってくる。 復習: 地域における公共スポーツ施設と社会の関わりについて確認する。
5	商業スポーツ施設・リゾート型スポーツ施設	スポーツクラブやスキー場など、社会における民間の商業施設やリゾート型スポーツ施設の立場について理解する。	予習: 民間のスポーツ施設やリゾートスポーツ施設について調べてくる。 復習: 商業スポーツのホスピタリティ理解。
6	オリンピック・パラリンピック	オリンピック・パラリンピックの意義、利権ビジネスとしての変遷、仕組み、光と影などについて考える。	予習: オリンピック・パラリンピックについて、開催の社会的意義の観点から調べてくる。 復習: オリンピックの利権としての仕組み、変遷、社会への影響について確認する。
7	国民体育大会と地域活性化	国民体育大会の歴史や目的、地域活性化について学ぶ。また、国民体育大会の開催県における複数年にわたる予算、人事、建物、指導者の変化などについても理解する。	予習: 国民体育大会の変遷について調べてくる。 復習: 国民体育大会の開催される課程、閉会後の社会的影響についても確認する。
8	市民マラソンにみるボランティア	市民マラソンを例に、社会における日本人のスポーツボランティアの現状、活動内容、経済効果などを知り、その特徴を取り上げる。	予習: マラソンの運営状況を調べてくる。 復習: 市民マラソン開催の社会的意義について確認する。
9	プロスポーツ	国内のプロ野球、Jリーグなどのプロリーグや、海外のプロスポーツも含め、スポーツと経済、スポンサーシップ、プロスポーツ選手の権利などから、社会におけるプロスポーツについて考える。	予習: 興味のあるプロスポーツについて、その意義を中心に調べてくる。 復習: プロスポーツの多面性について確認する。
10	マスメディアとスポーツ	メディアとスポーツの大衆化、観戦行動、スポーツ放送ビジネス、インターネットと印刷メディア(新聞・雑誌)、映画とスポーツ文化など、多角的に考える。	予習: スポーツとマスメディアの関係について調べてくる。 復習: スポーツにおけるマスメディアの役割について確認する。
11	女性・ジェンダーとスポーツ	スポーツのメディア化に伴う、女性スポーツの役割や期待、ジェンダーの問題が社会に及ぼす影響を考える。	予習: 女性スポーツやジェンダーの問題について調べてくる。 復習: 存在する問題や、社会の変化を確認する。
12	子どものスポーツと社会	社会の中のスポーツにおける、子どものスポーツについて、発達、環境、組織、指導者などの面から考える。	予習: 子ども(ジュニア期)のスポーツについて調べてくる。 復習: 子どもスポーツの、特に未来を確認する。
13	高齢者のスポーツ	高齢者のコミュニティスポーツ、生涯スポーツ、QOL、介護予防、弊害、競技的一面について学ぶ。	予習: 高齢者スポーツについて調べてくる。 復習: 超高齢化社会におけるスポーツの意義を確認する。
14	障がい者のスポーツ	障害を持った人におけるスポーツの環境について知り、これからの課題について考える。	予習: 障がい者スポーツの現状を調べる。 復習: 法的な整備、特徴、今後の開発について確認する。
15	これからのスポーツ指導者	これまで学んできたことを振り返り、これからのスポーツ指導者が社会で果たすべきことについて考える。	予習: 興味のある体育・スポーツの指導者資格について調べてくる。 復習: これからの指導者像について確認する。